



市の防災に心強い支援

—各団体から防災資機材の寄贈—

大雨などによる災害の危険性が増すなか、下のおり防災資機材を寄贈頂きました。市は今後とも、市民の皆さんと連携しながら防災や減災に取り組んでいきます。

- ・6月25日、鹿沼ロータリークラブより、消防本部へボート2艇と救命胴衣3着。
- ・7月20日、市内ボランティア団体「機動パトロール隊」より、土のう袋8,800袋。

大芦川で本格的な救助訓練

—鹿沼消防署水難救助訓練—

6月30日に大芦川くねのぼら橋下流(引田)で鹿沼消防署員が水難救助訓練を行いました。雨の影響で増水し流れも急になっている厳しい条件下で行われた本訓練。迅速かつ確に水難救助を行えるよう、さまざまなパターンを想定した内容となりました。

宮本救助係長は「事故には十分気を付け、ルールを守りながら鹿沼の美しい清流を楽しんでほしい」と話しました。



「木工のまち鹿沼」のコロナ対策

—木製アルコール消毒用足踏みポンプ寄贈—

7月9日、新型コロナウイルス感染防止に役立ててもらおうと、鹿沼木工団地協同組合から木製アルコール消毒用足踏みポンプ計34個を寄贈頂きました。

地元産のスギを使った木のぬくもりが感じられる足踏みポンプは、市内の小中学校に設置し、子どもたちの感染防止に活用していきます。



鹿沼そばの魅力を発信

—「そば天国スタンプラリー2021」
出発式&「そば大使」任命式—

鹿沼の一大イベント「そば天国」は、新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、昨年と同じく開催を見送り、代わりに「そば天国スタンプラリー2021」(夏と秋の2回)を開催しています。

7月10日には、まちの駅 新・鹿沼宿で「そば天国スタンプラリー2021」の出発式が行われ、併せて宇都宮ブレックスの安齋電三あんざいりゅうぞうヘッドコーチと喜多川修平きたがわしゅうへい選手を鹿沼そばの魅力PRする「そば大使」に任命しました。

